



地域で取り組む がん患者支援

がん医療従事者研修会 広島 2023

導入

広島県のがん患者さん支援の充実に向けて

帝京大学 医学部内科学講座 腫瘍内科

渡邊 清高

2023年7月11日
県立広島病院@ウェビナー
ハイブリッド

地域で取り組むがん患者支援 がん医療従事者研修会 広島 2023

地域で取り組む がん患者支援

がん医療従事者研修会 広島 2023

発表に関連し、
開示すべきCOI関係にある企業等は以下の通りです。

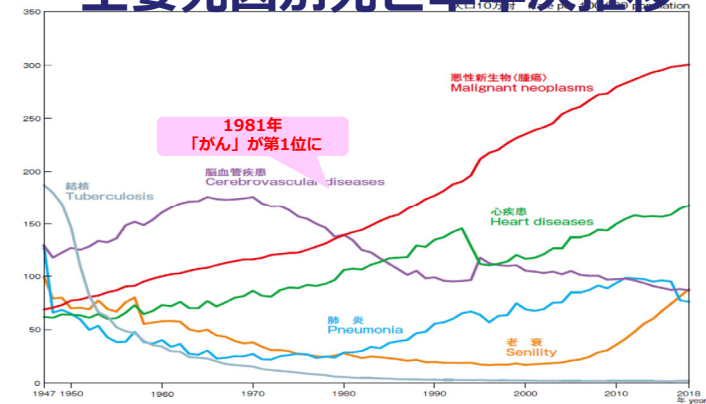
ファイザー株式会社
(プロジェクト助成)

広島県のがん患者さん支援の 充実に向けて

本日の研修会の目標

- #1. 広島県のがん患者さんご家族向けの**支援の現状と課題**を概説できる
- #2. がん患者さんの**QOLの向上**と**支援の充実に向けた活動の事例**を説明できる
- #3. がん患者さんの支援に向けた**多職種チームアプローチの意義**を説明できる

主要死因別死亡率年次推移

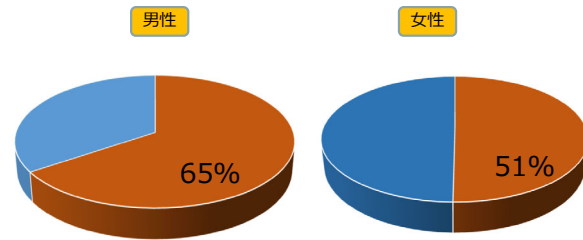


年間**38万人**の方ががんで亡くなり、
1年間で**99万人**もの方が新たにがんと診断されています。

(死亡 2021年データ、罹患 2019年データ)

国立がん研究センターがん情報サービス

日本人の2人に1人ががんになる

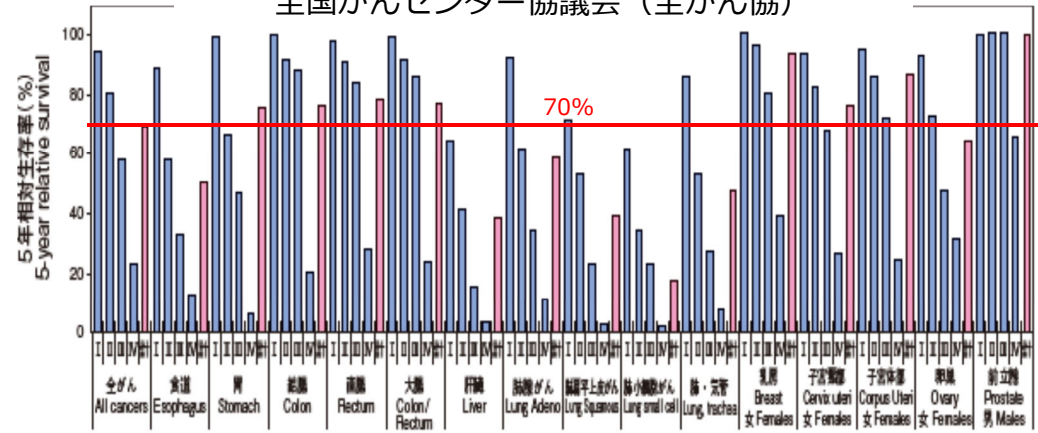


生涯でがん罹患する確率 (2019年)

国立がん研究センター
がん対策情報センターによる推計値

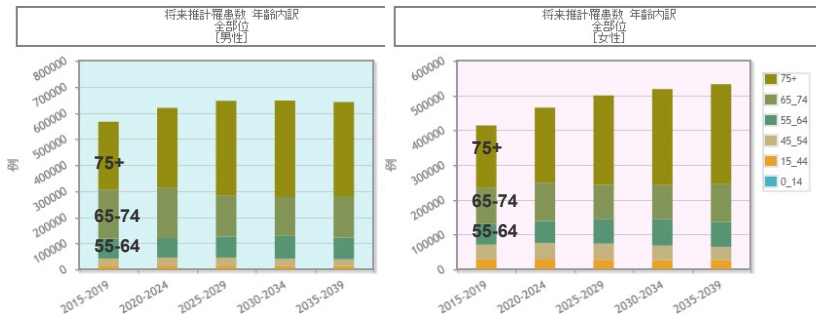
がん医療の進歩→ともに生きる社会へ

がんの5年生存率 (2011-2013 診断治療症例)
全国がんセンター協議会 (全がん協)



がんの統計'22

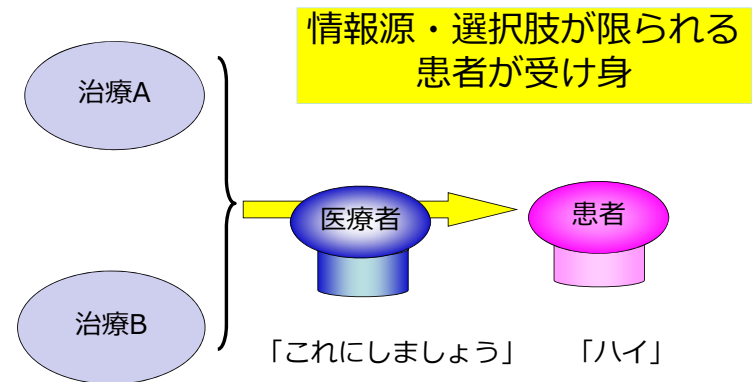
がん罹患数の将来推計 後期高齢者がますます増えることが見込まれます



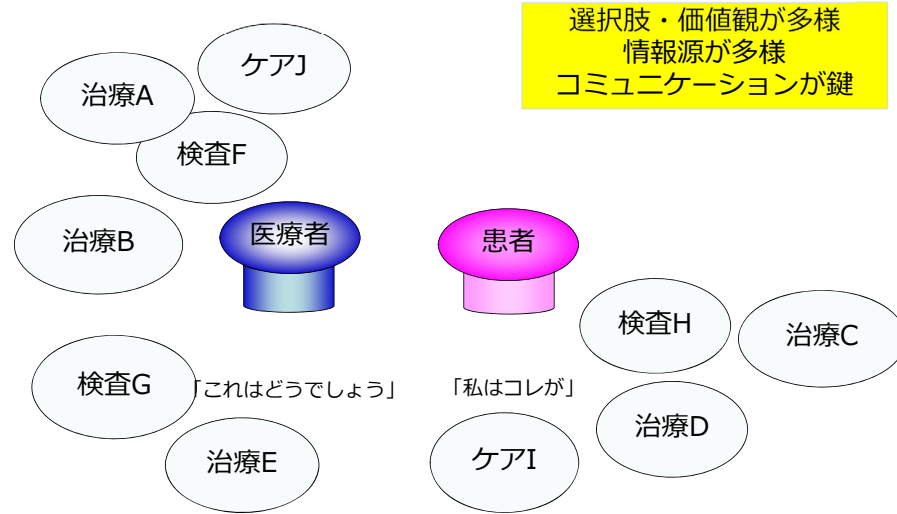
資料: 国立がん研究センターがん対策情報センター
Source: Center for Cancer Control and Information Services, National Cancer Center, Japan

資料: 国立がん研究センターがん対策情報センター
Source: Center for Cancer Control and Information Services, National Cancer Center, Japan

これまでの お任せ医療



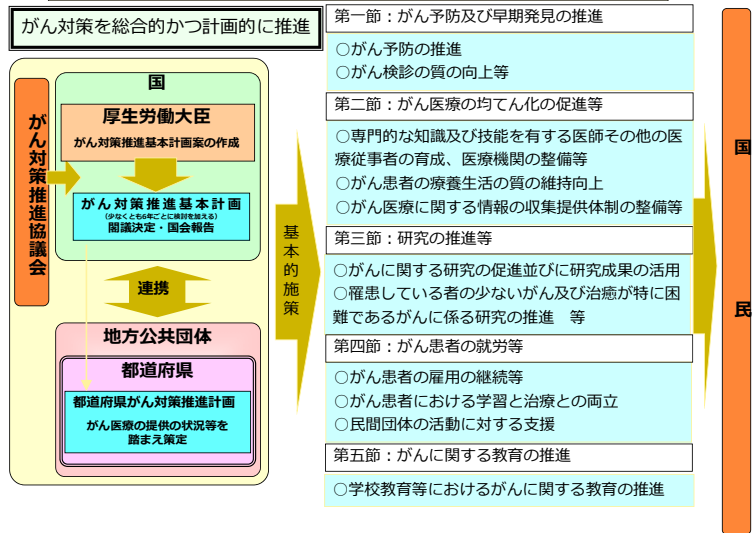
これからは「話し合う」医療とケア



がん対策の歩み

- 1963 厚生省がん研究助成金制度の発足
 - 1981 悪性新生物が死亡原因の第1位となる
 - 1984 対がん10カ年総合戦略の策定
 - 1994 がん克服新10カ年戦略の策定
 - 2004 第3次対がん10カ年総合戦略の策定
 - 2005 がん対策推進本部の設置 (厚生労働省)
 - 2005 がん対策推進アクションプラン2005
 - 2006 がん対策基本法成立
 - 2007 がん対策基本法施行、がん対策推進基本計画策定
 - 2009 がん検診50%推進本部の設置 (厚生労働省)
 - 2012 がん対策推進基本計画 (第2期)
 - 2015 がん対策加速化プラン (厚生労働省)
 - 2016 がん登録推進法施行
 - 2017 がんゲノム医療中核拠点病院等整備指針
 - 2018 がん対策推進基本計画 (第3期)
 - 2023 がん対策推進基本計画 (第4期)
- 社会におけるがん (就労支援・雇用主/保険者の役割・がん教育)
都道府県・地域における役割、PDCAサイクル

がん対策基本法 (2007年4月施行、2016年12月改正・施行)



第4期がん対策推進基本計画 (令和5年3月28日閣議決定) 概要

第1. 全体目標と分野別目標 / 第2. 分野別施策と個別目標

全体目標: 「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」

<p>「がん予防」分野の分野別目標 がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す</p> <p>1. がん予防 (1) がんの1次予防 ①生活習慣について ②感染症対策について (2) がんの2次予防 (がん検診) ①受診率向上対策について ②がん検診の精度管理等について ③科学的根拠に基づくがん検診の実施について</p>	<p>「がん医療」分野の分野別目標 適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す</p> <p>2. がん医療 (1) がん医療提供体制等 ①医療提供体制の均てん化・集約化について ②がんゲノム医療について ③手術療法・放射線療法・薬物療法について ④チーム医療の推進について ⑤がんのリハビリテーションについて ⑥支持療法の推進について ⑦がんと診断された時からの緩和ケアの推進について ⑧妊孕性温存療法について (2) 希少がん及び難治性がん対策 (3) 小児がん及びAYA世代のがん対策 (4) 高齢者のがん対策 (5) 新規医薬品、医療機器及び医療技術の選やかな医療実装</p>	<p>「がんとの共生」分野の分野別目標 がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることで、地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す</p> <p>3. がんとの共生 (1) 相談支援及び情報提供 ①相談支援について ②情報提供について (2) 社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援 (3) がん患者等の社会的な問題への対策 (サバイバーシップ支援) ①就労支援について ②ピアラウンジについて ③がん診断後の自殺対策について ④その他の社会的な問題について (4) ライフステージに応じた療養環境への支援 ①小児・AYA世代について ②高齢者について</p>
---	--	--

4. これらを支える基盤
(1) 全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進
(2) 人材育成の強化
(3) がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
(4) がん登録の活用促進
(5) 患者・市民参画の推進
(6) デジタル化の推進

第3. がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

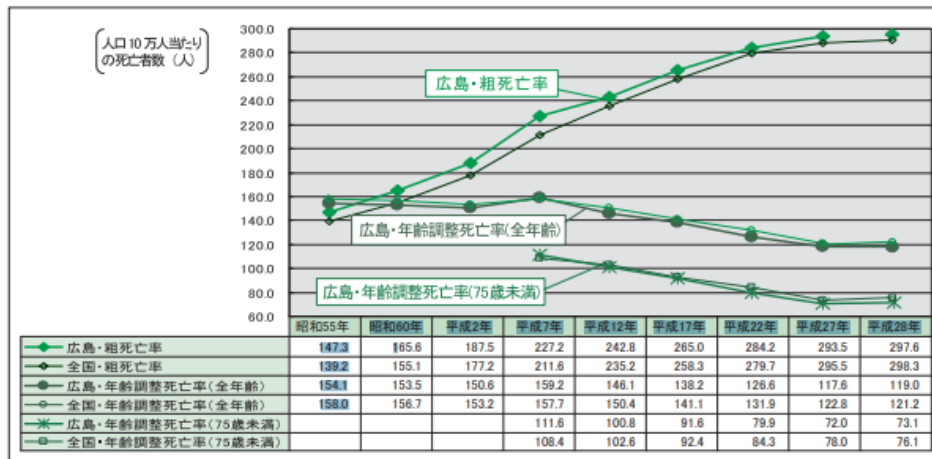
- 関係者等の連携協力の更なる強化
- 感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策
- 都道府県による計画の策定
- 国民の努力
- 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
- 目標の達成状況の把握
- 基本計画の見直し

広島県のがん患者さん支援の 充実に向けて

1. がんの現状と多職種チームケア
2. 患者さんを支える地域連携とは
3. 地域に広がるネットワークづくりに向けて

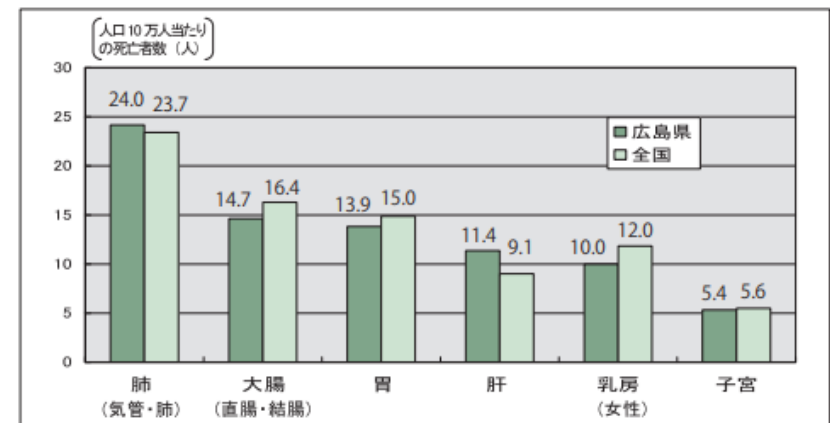
広島県のがん患者さん支援の 充実に向けて

1. がんの現状と多職種チームケア
2. 患者さんを支える地域連携とは
3. 地域に広がるネットワークづくりに向けて



がん年齢調整死亡率の推移

- ・全国的に減少傾向が持続している
 - ・女性では横ばい/増加の年がある
- 広島県がん対策推進計画（平成30年3月）



2016（平成28）年部位別がん年齢調整死亡率

- ・喫煙関連がん（肺）、肝炎ウイルス感染関連（肝）は全国と比較して高い

「がん患者さんのQOL」を高めるには？

「質が高いがん相談」
ってどんな相談？

治してしてくれる病院への紹介？
(例：がんによる死亡率が低い地域、
発見率が高い病院)

何でも答えてくれる
相談？

最先端の治療を
紹介してくれる？

待ち時間がなく、対応
してくれる？



がんを治療してくれる病院
がある地域？
(例：治療実績が豊富)

通いやすいクリニック？
在宅ケア施設への紹介？

プロセスとアウトカムの比較

	プロセス (例：がん相談の対応件数)	アウトカム (例：QOLの向上)
調べられること	・プロセスが適切な方法で行われているか否か	・行った医療の結果（成果）
改善策との関係	・改善策と直結しやすい	・改善策と直結しにくい
患者・家族にとってのわかりやすさ	・理解しにくい	・理解しやすい ⇒患者や家族は「結果（アウトカム指標）」重視となりやすい

- 患者が受けたケアを反映
- 現場にとって公正で、受け入れられやすい
- 変化しやすい

- アウトカムを見るだけでは不完全
- 変化しにくい

「がん医療・ケア、がん相談の質」を見える化する

患者・家族・支援者のニーズは
医療者のニーズは

改善・工夫
開発
創造



知識のアップデート
スキルの向上
コミュニケーション
チームアプローチ

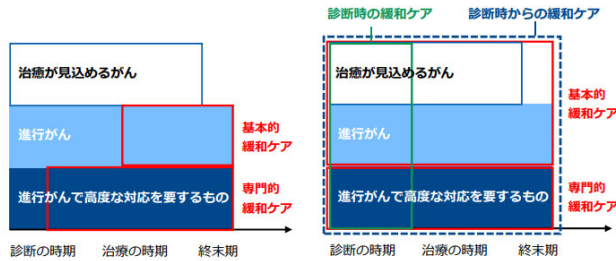
アンケート・体験調査
患者報告アウトカム（PRO）など

第4期 がん対策推進基本計画（2023年3月）

- 第1 全体目標 「すべてのがん患者およびその家族等の療養生活の質の向上を目指す」
 - 2 医療体制を充実させ、生存率の向上・死亡率の減少
 - 3 尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現
- 第2 分野別施策と個別目標
 - 2 患者本位で持続可能ながん医療の提供
がんゲノム医療をはじめとした高度医療の提供を推進するとともに、患者本位のがん医療を展開する。均てん化・集約化を進め、効率的かつ持続可能ながん医療を提供する。支持療法や緩和ケアが適切に提供される体制を整備する。
 - 3 がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築
住み慣れた地域社会で生活をしていく中で必要な支援を受けることができる環境を整備する。

国と地方公共団体、がん患者を含めた国民、医療従事者、医療保険者、事業主、関係学会、患者団体及び職能団体等の関係団体、マスメディア等（以下「関係者等」という。）は、医療・福祉・介護・産業保健・就労・教育支援分野等と連携し、効率的な医療・福祉・保健サービスの提供や、就労・教育支援等を行う仕組みを構築することで、**社会的な課題を解決し、がん患者及びその家族等の「全人的な苦痛」の緩和を図る。**

がんと診断された時からの緩和ケアの推進について



「がん対策基本法」、「がん対策推進基本計画」で規定されています。
 がんと診断された時から全ての医療従事者が緩和ケアを提供し、全ての患者の身体的・精神的・社会的苦痛の緩和、QOL (Quality Of Life = 生活の質) の向上等を目指すものです。

現場の医療従事者がもつ「緩和ケア」のイメージ

※基本的緩和ケア：担当医や担当看護師など全ての医療従事者が習得し提供するケア
 専門的緩和ケア：基本的緩和ケアでは対応が難しい場合に、専門的な知識や技術を持って提供するケア
 緩和ケア医や緩和ケアチーム、麻酔科医、放射線治療医、精神腫瘍医などが提供する

(参考) 早期からの緩和ケア

海外の考え方で、進行したがん患者に対して（従来より早く）専門家による緩和ケアを提供して、QOLの向上をめざすものです。

厚生労働省「診断時の緩和ケア」
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000948187.pdf>

3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

- 1) 自分らしい日常生活を送ることができている
- 2) 診断～治療開始前に病気や療養生活について相談できた
- 3) 家族の悩みや負担を相談できる支援が十分である

数値
70.5% [80.8%](※)
76.3%
成人： 48.7% [57.6%](※)
小児： 39.7%

・患者体験調査では、自分らしい生活をおくることができていると感じる患者、相談できると感じる患者は増加している
 ・拠点病院のがん相談支援センター、地域統括相談支援センター、民間団体による相談窓口、がん情報サービスなどの活用を推進している

2018年度患者体験調査 2019年度小児患者体験調査

3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

(2) 相談支援及び情報提供

(1) がんと診断された時からの緩和ケアの推進

①相談支援

①緩和ケアの提供について

がん診断～治療開始前に 病気や療養生活について相談できた と感じるがん患者の割合	2018年度 76.3%	2014年度 67.4%
家族の悩みや負担を 相談できる支援が十分である と感じているがん患者・家族の割合	2018年度 成人：48.7% (補正值：57.6%) 2019年度 小児：39.7%	2014年度 成人：37.1%
がん相談支援センター/相談支援センター について 知っている がん患者・家族の割合	2018年度 成人：66.4% 2019年度 小児：66.4%	2014年度 成人：56.0%
ピア・サポーター について知っているがん患者の割合	2018年度 27.3%	

- 1) 療養生活の最終段階において、身体的な苦痛を抱えている

数値
40.4%(痛み) 47.2%(からだの苦痛)
42.3%

- 2) 療養生活の最終段階において、精神心理的な苦痛を抱えている

・利用したことがある人は、成人で14%、小児で35%
 ・「役に立った」と回答した人は8割を超える
 ・がん相談支援センターの相談支援従事者の研修の充実、説明・広報、利用の推進がなされている
 ・ピア・サポーターの研修の充実（研修企画・テキスト改訂・フォローアップ）がなされている

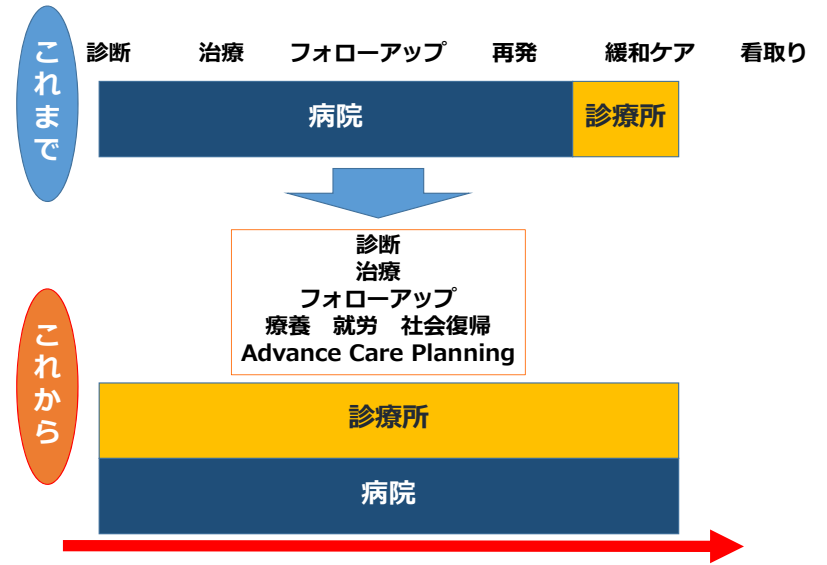
・療養生活の最終段階において、身体的な苦痛を抱えている患者（遺族調査）は4割
 ・終末期の痛みの原因についての調査、呼吸困難・せん妄等に関するアルゴリズムの開発に取り組んでいる
 ・緩和ケアに関する課題に対する必要な取り組みについて議論する

2018年度患者体験調査 2019年度小児患者体験調査

2018年度がん患者の療養生活の最終段階における実態把握事業

広島県のがん患者さん支援の 充実に向けて

1. がんの現状と多職種チームケア
2. 患者さんを支える地域連携とは
3. 地域に広がるネットワークづくりに向けて



病院内チーム：手術、放射線治療、抗がん剤治療などのがん治療の急速な発展により、高度な集学的治療の提供が可能になる一方で、複数の専門職による関与が不可欠になりました。



地域医療チーム：一方、高齢化社会によるがん患者の増加、支持療法の進歩、患者のQOL重視の視点などから、がん治療は入院から外来にシフトしつつあるため、病院外の専門職の関わりが必要になってきています。



地域包括ケアチーム：さらには、生活者としての患者・家族を支えて治療を行う、看取りを含めたケアを住み慣れた環境で実現するための、介護福祉関係者、行政、市民を含めたチームという考え方も広がりつつあります。

患者必携 がんになったら手にとるガイド
国立がん研究センター 2013



令和2年（2020年）

広島県の「がんの相談窓口」
がん相談支援センター・がん専門医よろず相談所
小児がん・希少がんの相談窓口、セカンドオピニオン
「がん情報を探す」
正しい情報を探す、インターネット、図書館
「医療施設を探す」
がん診療連携拠点病院、小児がん、がんゲノム、
高精度放射線治療センター、県がん医療ネットワーク
「緩和ケア」
診断された時からの緩和ケア、緩和ケア病棟
「暮らしとお金」
在宅で療養、介護保険サービス、在宅福祉サービス、子育て中の方へ、医療費・生活費、障害が残った方へ、仕事のこと
「支え合いの場」
拠点病院のサロン、広島県がんサポーター
患者団体・患者支援団体（がんサロン）
「問い合わせ先」
がん相談支援センター、県・厚生環境事務所（保健所）、市役所・町役場、税務署・年金事務所、ハローワーク、社会福祉協議会、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、保険薬局、地域包括支援センター、公共図書館など

65歳 男性



高血圧と高脂血症で治療中
健康診断では血圧が高いことと、塩分を控える、たばこをやめるよう言われている
ラーメン焼き、お好み焼き大好き

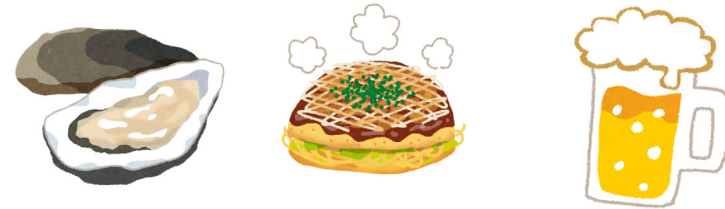


最近食欲がない
何となくお腹が重い感じがある

検査で異常あり 県立病院へ
胃がん 手術と抗がん剤治療



「大変だったけどこれで家に帰れる」
「一服したいし、しょっぱいのもそろそろ」



- ・ 検査と診断の流れ
- ・ 入院前の準備
- ・ 開腹手術による治療
- ・ 痛みのコントロールとリハビリ



- 立つ、歩く、運動する、体力をつける
- ・ 後遺症の予防とケア
減塩食・卒煙（禁煙治療）
- ・ ストレスコントロール
- ・ 退院後のリハビリへの移行



治療前

- ・ 病状・治療の理解・治療選択の支援
- ・ 事前のリスク評価
- ・ 適切なセルフケア/家族ケアの提案



治療中

- ・ 入院前説明
- ・ 治療中の注意事項
- ・ 副作用・後遺症のモニタリング

フォローアップ

- ・ 後遺症の予防とケア
- ・ 在宅での服薬管理・家族支援
- ・ 生活面・経済面での相談
- ・ 心理面・精神面の支援

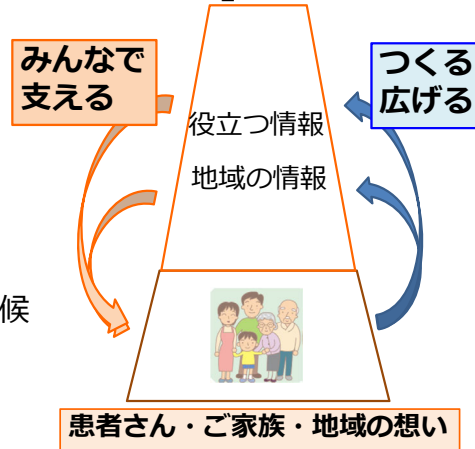


地域で支える、新しい医療のかたち

「情報をつくる」→「つながる」→「みんなで支える」

在宅医療
緩和ケア
地域の医療・療養資源
独自の社会支援制度
患者会・患者支援団体

歴史・風土・文化・気候
家族観・人生観



広島県のがん患者さん支援の 充実に向けて

1. がんの現状と多職種チームケア
2. 患者さんを支える地域連携とは
3. **地域に広がるネットワークづくりに向けて**

これからのことを、

「考える」
↓
「話し合う」

アドバンス・ケア・プランニングとは

これからのことを、

「考える」
↓
「話し合う」
↓

「納得する」「伝える」

アドバンス・ケア・プランニングとは

アドバンス・ケア・プランニング

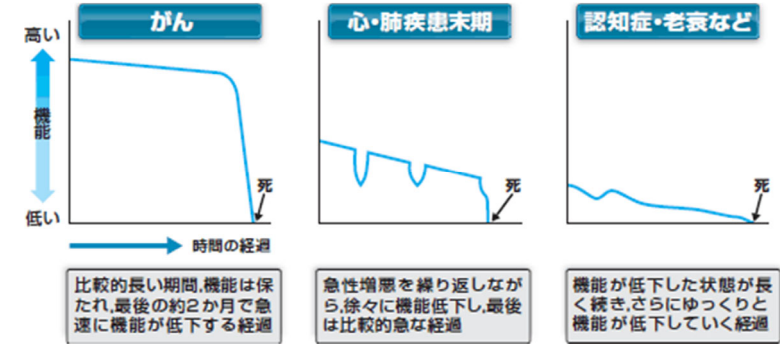
Advance Care Planning(ACP) : 定義

- 今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセス
 - 患者が望めば、家族や友人とともに行われる
 - 患者が同意のもと、話し合いの結果が記述され、定期的に見直され、ケアにかかわる人々の間で共有されることが望ましい。
 - ACPの話し合いは以下の内容を含む
 - ・ 患者本人の気がかりや意向
 - ・ 患者の価値観や目標
 - ・ 病状や予後の理解
 - ・ 治療や療養に関する意向や選好、その提供体制

<http://www.ncpc.org.uk/sites/default/files/AdvanceCarePlanning.pdf>

第1回 人生の最終段階における医療の普及・啓発の在り方に関する検討会（平成29年8月）

疾患群別予後予測モデル



Lynn, Living Well at the End of Life 2003より

アドバンス・ケア・プランニングについて

賛成である **64%**

よく知っている **3%**

聞いたことはあるがよく知らない **19%**

知らない **75%**

平成29年度人生の最終段階における医療に関する意識調査報告書

人生の最終段階における医療について 家族等や医療介護関係者との話し合い

詳しく話し合っている **2%**

一応話し合っている **36%** (男性30%、女性45%)

話し合ったことがない理由

きっかけがない **56%**

必要性を感じていない **27%**

知識がない **22%**

話したくない **5%**

話し合うきっかけ

家族の病気や死、自分の病気、メディア、医療者

平成29年度人生の最終段階における医療に関する意識調査報告書

在宅療養を支える家族向けの情報

内容についての意見

- ・患者本人とのコミュニケーションの取り方がわかる
- ・家族のケアのやり方、最期のときの様子がわかる
- ・気持ちが動転しているときに、大変役立つ内容
- ・心の準備ができる、気持ちの余裕を取り戻せる

届け方についての提案

- ・手に取るタイミングが非常に重要。自他ともに受けとめる時期が良いのでは。
- ・病院、在宅医、訪問看護ステーション、薬局など、目に触れる機会を増やすことが大切。

<https://plaza.umin.ac.jp/homecare/>

在宅がんウィット (在宅で過ごすときに役立つ情報)

在宅がんウィット

がんを患った方が在宅で過ごすときに役立つ情報をお届けします

Q. Q&A情報の検索

本サイトの特徴

がんを患った方が在宅で過ごすときに役立つ情報について、さまざまな分野のエキスパートがQ&A形式でお届けします。



がんを患った方とご家族・支援者のためのQ&A



在宅での療養にすぐ役立つ情報



さまざまな分野のエキスパートが執筆



最新の知見に基づく内容



特定の商品の推奨や利益誘導をしない



ご利用は無料

Q. Q&A情報の検索はこちら

知りたいことはなんですか？

例: 歩行器

よくある質問

- 本サイトの新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) への対応
- 在宅療養のための準備や本人の心構え
- 退院して在宅療養を始めるときの相談先
- 病院の看護師と訪問看護師の違い
- 訪問看護サービスの具体的な内容

言葉のヒント

A-Z 24時間 24時間対応加算 2ヶ所 2人 65歳未満 COVID-19 CVポート FAQ一覧 HOT IVH NPO法人 PCR検査 Q&A一覧 QOL

あ 相性 痛 足湯 アドバイス アルコール アロマセラピー 安心 言い難い 言いにくい 息切れ 悪心 悪臭 医師 医師 依存性 痛み 痛み 痛み止め 痛みのコントロール 痛み抑制剤 一人 一般の方 移動援助 田舎 医療保険 医療保険証 医療用医薬品 除性 インフルエンザ 除菌洗浄 受持ち制 栄養 栄養管理 運び方 往診 嘔吐 多く

<https://ganwit.jhocc.jp/>

知りたいことはなんですか？

下痢

- 便秘や下痢、排便コントロールについて
- 胃がんで胃切除後、下痢が増えたり、貧血になったりしている。
- 下半身を拭いてあげる時のコツ
- 下着とオムツやパッドが進歩しています
- 64歳以下でも介護保険サービスを利用できますか
- 階段の上り下りすらも一人ではできない状態での退院が不安
- 最近、下着に色がついて尿が漏れていること (尿漏れ) が多いです。どうしたらよいでしょうか？ (中高年の男性・女性から)
- 化学放射線療法を受けている方の嚥下困難への対応

言葉のヒント

2021/11
在宅がん療養財団が検索型FAQ『Helpfeel』を導入。
がん専門医監修のFAQでの採用は初。

在宅がん療養財団が
検索型FAQ『Helpfeel』を導入



Helpfeel

専門医が監修するコンテンツへの
即時アクセスを実現

- ・意図予測検索
- ・検索型FAQサイト
- ・福祉・介護関連の相談
- ・家族・支援者向け情報も拡充

<https://ganwit.jhocc.jp/>

がん相談支援室 こんな相談ができます

2021年に患者さんやご家族からお受けした相談内容ベスト10

1位	在宅医療
2位	介護・看護・療育
3位	転院
4位	医療者との関係・コミュニケーション
5位	患者さんと家族とのコミュニケーション
6位	ホスピス・緩和ケア
7位	不安・精神的苦痛
8位	症状・副作用・後遺症
9位	食事・服薬・入浴・運動・外出など
10位	医療費・生活費・社会保障制度
11位～	がんの治療

がん患者家族にどう話していいかわからない。

がんゲノム医療ってなに？

がん治療をしながら仕事を続けたい。

医師に聞きたいことがうまく聞けない。

医療費や生活費に不安がある。

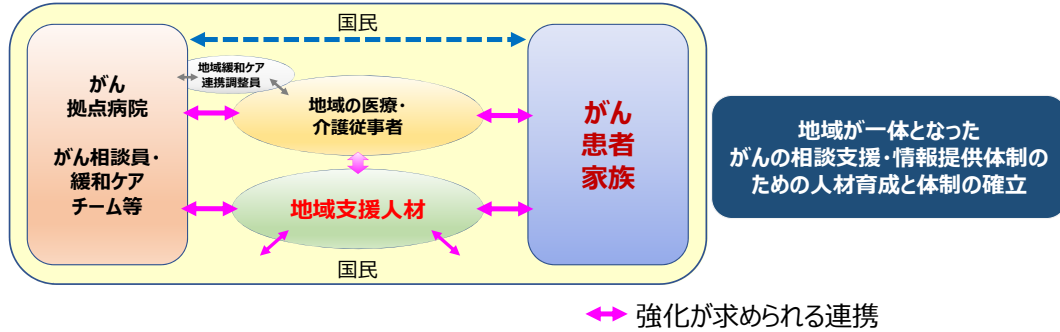
就職活動を始める。がんのことを企業へどう伝えたらいい？

帝京大学医学部附属病院
がん相談支援室だより
2022年9月

地域における相談支援活性化人材の育成の例
 がん医療ネットワークナビゲーター（日本癌治療学会）



がん相談員を支援する（外部の）人材を育成

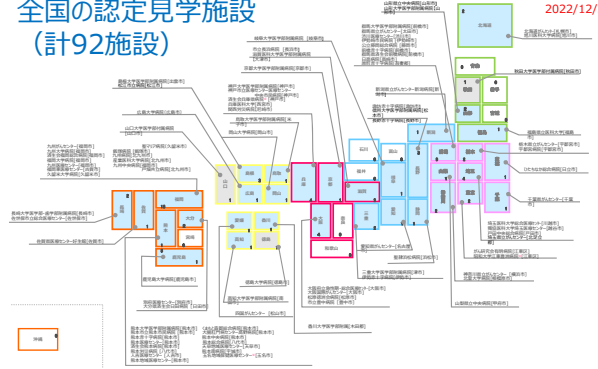


地域で取り組むがん患者支援 がん医療従事者研修会 広島 2023

ナビゲーター養成状況

- シニアナビゲーター認定者 97名
- ナビゲーター認定者 681名（申請者7名含む）

全国の認定見学施設
 （計92施設）



2022/12/31			2022/12/31		
都道府県	navi	都道府県	navi	都道府県	Sr.navi
北海道	35	京都府	3	北海道	10
青森県	8	大阪府	22	秋田県	1
宮城県	1	兵庫県	7	山形県	1
秋田県	15	奈良県	3	福島県	1
山形県	6	鳥取県	2	群馬県	10
福島県	8	栃木県	1	埼玉県	7
茨城県	4	岡山県	10	千葉県	1
栃木県	3	広島県	12	東京都	4
群馬県	16	山口県	2	神奈川県	3
埼玉県	14	愛媛県	1	新潟県	1
千葉県	11	香川県	3	岐阜県	2
東京都	57	愛知県	8	静岡県	1
神奈川県	17	高知県	3	愛知県	2
新潟県	5	福岡県	244	三重県	3
石川県	1	佐賀県	8	滋賀県	4
福井県	1	長崎県	14	京都府	2
長野県	2	熊本県	53	大阪府	4
岐阜県	7	大分県	36	兵庫県	3
静岡県	11	宮崎県	2	岡山県	2
愛知県	10	鹿児島県	4	広島県	3
三重県	6	沖縄県	2	徳島県	1
滋賀県	3			愛媛県	1
				高知県	1
				福岡県	11
				佐賀県	1
				熊本県	15
				大分県	2
				合計	97

がん患者のための多職種チームケアと
 地域医療連携を推進するプロジェクト



地域におけるがん医療の環境を踏まえ、チーム医療を推進・向上させ、地域医療連携のもとで質の高い患者ケアを実現することを目的として教育研修プログラムを開発し提示します。

がん治療とケアを患者に確実に届けることで、より良いアウトカムにつなげることを目指します。

日本癌治療学会/ファイザー-医学教育助成金
 「がん患者のためのチーム医療・地域医療連携の推進に対する取り組み」



一般社団法人
 日本がんサポーターシップケア学会
 Japanese Association of Supportive Care in Cancer



第9回日本がんサポーターシップケア学会学術集会
 The 9th Annual Meeting of the Japanese Association of Supportive Care in Cancer (JASCC)

多職種で関わる・チームで支える in #JASCC24

ライフコースを支えるサポーターシップケア
 小児・AYA・高齢者を支える
 多職種チームで実践しよう
 周術期・リハビリ・ロコモ・放射線治療・
 皮膚障害・心のケア・在宅・
 アピアランスケア・就労支援
 支持医療の均てん化と普及へ
 切れ目のない支持医療の展開
 （検討中のものを含みます）



<https://www.jascc2024.org/>

#JASCC24



第9回日本がんサポーターティブケア学会学術集会

The 9th Annual Meeting of the Japanese Association of Supportive Care in Cancer (JASCC)

私たちの夢をかなえる
がん支持医療

Cancer Supportive Care Makes Our Dreams Come True

2024 5/18^土・19^日

●会場 埼玉会館 〒330-8518
埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-1-4

●会長 渡邊 清高 帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科

演題募集期間 2023年10月4日(水)~12月20日(水)



<https://www.jascc2024.org/>

#JASCC24



JASCC